

理 科 2 年(化学、生物)

教科の目標

- 化学変化についての事象を原子・分子のモデルと関連づける見方や考え方を理解する。
- 化学変化と質量の変化、化学変化と熱(温度変化)について、実験を通して理解する。
- 植物と動物の細胞や植物と動物のからだのつくりとはたらきについて理解する。

学習計画

1学期 (週 2時間)			2学期 (週 2時間)			3学期 (週 2時間)		
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容
4	1		9	17	化学変化と熱	1	34	吸収のしくみ
	2	物質の分解		18			35	血液のはたらき
	3	水の電気分解		19	中間考査		36	
	4	原子と分子		20	植物の細胞	2	37	排出のしくみ
5	5	単体と化合物		21	動物の細胞		38	
	6	物質の分類、化合	10	22	葉と光合成		39	刺激と反応
	7	化学変化のモデル		23			40	学年末考査
	8	物質が燃える化学変化		24	光合成に必要なもの	3	41	
	9	酸化物の還元		25	植物と呼吸		42	神経のはたらき
6	10	化学変化と質量変化		26	植物と水		43	骨と筋肉
	11	期末考査	11	27			44	単元のまとめ
	12			28	期末考査			
	13	質量保存の法則		29	水の通り道			
7	14		12	30				
	15	金属の酸化と質量変化		31	消化のしくみ			
	16			32				
				33				

評価について

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
定期テスト		定期テスト		定期テスト	
小テスト		小テスト		授業プリント	
授業プリント		授業プリント		ワーク提出	
課題		課題		オクリンク課題	

学習の仕方と評価のポイント

- ・毎時間、意欲的に・取り組み、ノートを書き、プリントに取り組みましょう。
- ・考察を大切に自分の考えを表現しよう。様々な考えや知識を活用し新たな課題や疑問を見い出そう。
- ・授業プリント(実験観察プリント含む)はファイルにとじて保管し家庭での復習に利用しましょう。
- ・提出物(プリントやオクリンクプラスなどの課題)は、必ず期日を守って提出しましょう。
- ・定期考査前にはノートとプリントを見直し、ワークを繰り返しやりましょう。
- ・実験を安全上の注意をよく話を聞き、指示に従って真剣に取り組みましょう。

理 科 2 年(物理)

教科の目標

- 静電気に関わる観察、実験を通して、静電気の基本的な性質を理解する。
- 電流回路についての観察・実験を通して、電流と電圧、抵抗の関係や電流のはたらきについて理解する。
- 電流と磁界、磁力線、磁気作用について日常生活と関連付けて理解する。
- 電気エネルギー、発電機やモーターのしくみ、直流と交流について、実験を通して理解する。

学習計画

1学期（週 1時間）			2学期（週 1時間）			3学期（週 1時間）			
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容	
4	1	静電気と電流	9	17	中間考査（14日、15日）	1	34	発電機のしくみ	
	2			18			35		
	3			19			36		
	4			20		2	37	直流と交流	
5	5	静電気と電流	10	21	電気エネルギー		38		学年末考査（26日～28日）
	6			22			39		
	7			23			40		
	8			24			3		
6	9	回路に流れる電流	11	25	電流がつくる磁界	42			
	10			26		43			
	11			27		44			
	12			28		モーターのしくみ			
7	13	期末考査（15日～17日）	12	29	電気と電流・抵抗				
	14			30					
	15			31					
	16			32					

評価について

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
定期テスト		定期テスト		ワーク	
小テスト・課題		小テスト・課題		ノート	
ノート		ノート		定期テスト	

学習の仕方と評価のポイント

- ・毎時間、意欲的に取り組み、ノートを書き、プリントに取り組みましょう。
- ・自分の考えを表現しよう。また、様々な考えや知識を活用して新たな課題や疑問を見出そう。
- ・実験、観察のプリントはファイルにとじて保管し、家庭での復習に利用しましょう。
- ・提出物は、期日を守って遅れずに提出しましょう。
- ・定期テスト前には、ノートとプリントを見直し、ワークを繰り返しやりましょう。
- ・実験を安全に行うために、安全上の注意をよく話を聞き、指示に従って真剣に取り組みましょう。

理 科 2 年(地学)

教科の目標

- 大気の変化によって、天気の変化(気象要素の変化)が起こることを観測や画像を通じて理解する。
- 太陽や地球の自転で、気圧や水蒸気量が変化し、気象現象が起こることを理解する。

学習計画

1学期（週 1時間）			2学期（週 1時間）			3学期（週 1時間）		
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容
4	1	圧力と大気圧、風	9	17	雲のでき方	1	34	天気の予測
	2			18			35	
	3			19			36	
	4			20		中間考査（14日、15日）	2	37
5	5	気象観測	10	21	38			
	6			22	39	学年末考査（26日～28日）		
	7			23	40			
	8			24		3	41	単元のまとめ
9	25	42						
6	10	期末考査（11日～13日）	11	26	大気の動きと天気の変化		43	
	11			27			44	
	12			28	期末考査（13日～15日）			
	13			29				
7	14	水蒸気と湿度	12	30	日本の天気			
	15			31				
	16			32				
							33	

評価について

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度	
観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
定期テスト		定期テスト		定期テスト	
小テスト		小テスト		ワーク提出	
授業内プリント		授業内プリント		ノート提出	
課題		課題		課題	

学習の仕方と評価のポイント

- ・毎時間、意欲的に取り組みプリントをしっかりと完成させる。
- ・自分の考えを、相手に伝えようとする。また、様々な考えや知識を活用して新たな課題や疑問を見出そうとする。
- ・プリントはノートに貼って保管する。提出物は、期日までに提出する。
- ・定期テストや小テスト前には、プリントを見直し、ワークを繰り返し取り組む。
- ・実験を安全に行うために、安全上の注意をよく話を聞き、指示に従って真剣に取り組む。